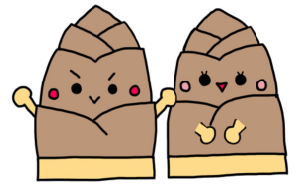




たけのこだより



令和 7 年 10 月 31 日

日が暮れるのが早くなり、朝晩ぐっと冷え込むようになりました。晩秋です。子ども達は散歩に出かけるとたくさんのだんぐりを持って帰ってきます。

今年度も後半に入り、市内の小学校では就学時検診が始まっています。年長児の保護者の皆様にとっては、小学校進学が近づいてきてうれしいようなさみしいような…。ドキドキですね。またたけのこでは年少・年中児の保護者の方に新年度の通所希望をうかがっている最中です。

進級・進学までのこの半年は、子ども達の成長がグンと伸びることが多い時期です。お子さまの成長に寄り添っていくよう支援を続けてまいります。

これから一段と寒くなり、冬へと進んでいきます。衣服の調整をしながら、寒さに負けず元気いっぱい戸外遊びや散歩をしていきたいと思ひます。風邪やインフルエンザ等が流行る季節でもあります。ご家庭でも早寝早起き朝ごはんや手洗い・うがいなど、生活習慣を整えて、体調管理ができるようご協力ください。

●●● 11月の主な予定 ●●● ☆印:公認心理師(島貫)がおります

月	火	水	木	金
11/3 文化の日	4 ☆	5 ☆	6 ☆	7 ☆
10 避難訓練	11	12 ☆ 避難訓練	13 ☆	14 ☆ 避難訓練
17 ☆ 誕生会	18	19 ☆	20 ☆ 誕生会	21
24 勤労感謝の日の 振替休日	25 ☆ 教育実習開始 ～12/8	26	27 ☆	28 ☆

※幼稚園行事への交流参加を計画しています。

●●● 12月の主な予定 ●●●



9日(火)・11日(木)	避難訓練	13日(土)	クリスマス会
15日(月)・18日(木)	誕生会	19日(金)～25日(木)	大そうじ週間
26日(金)～1/6(火)	たけのこ冬休み	2026年1/7(水)	新年始業日

※幼稚園行事への交流参加を予定しています。

※行事予定は変更する場合があります。

きりん組の作品

ハロウィンのゴーストができました



爪のチェックをしましょう

子どもの爪は薄いので、爪が伸びていると肌を掻いたときに傷になってしまったり、お友だちを傷つけてしまったりしてしまうこともあります。

週末には親子のスキンシップを兼ねて、爪切りタイムをつくってみてはいかがでしょうか。

お子様が爪切りを嫌がって動いてしまう時は、一緒に歌を歌いながら切ったり、抱っこしながら切ったり、テレビや動画を見せて注意をそらしたりして、なるべく動かないよう意識してみるといいかもしれません。

正しい爪の切り方

- ※貝印への取材を基に作成
- ポイント 1** 0.5～1ミリ
- 爪の中央部が指先と同じ高さになるように切る
 - 爪先の白い部分は0.5～1ミリ残る
 - 真横から確認する
- ポイント 2**
- 爪の切り口が直角になるよう、刃の傾きを合わせる
 - 爪切りの下刃を爪に引っ掛けて、挟むように刃を入れる
- ポイント 3** 1ミリ以下
- 爪先の真ん中から両端にかけて、①～③の順に左右交互に切る
 - 一度に切る長さは1ミリ以下とする

ジャンパーを着用します

寒くなってきました。たけのこへの登降所や外遊びの際にジャンパーを着用します。安全面から“フードのないもの”そして“薄手のもの”をご用意ください。準備ができ次第、着用していただいております。



新年度の通所希望調査をしています

現在お子様が年少と年中のご家庭に新年度（令和8年度）の通所希望調査をしています。配付した調査表をよくお読みになって記入しご提出ください。また、**バス停の変更**や**新規バス希望**の方はご相談ください。

今月のコラム



今年も残すところ2ヶ月となりましたね。肌寒く感じる季節ですが、毎日元気に登園してくれる子ども達と鬼ごっこをしたり、ボール遊びをしたりして、あっという間にお子さん職員も身体がばかばかしています。

今回は、お子さんの健康管理・通院について考えていきたいと思います。お子さんで病院が好きな子はほとんどいないですね。かくいう私も子どもの頃から大の苦手です（笑）。発達に偏りのあるお子さんの中には、環境の変化の苦手さ、対人緊張の高さ、感覚過敏や見通しのもてなさからくる不安などから、病院に対する恐怖感を抱きやすい子が多いです。中には病院に連れて行った時に癇癪を起こされてから病院に連れて行けていないという話もお聞きます。

「今は無理だけど大きくなったら行けるだろう」ということもないとは言いませんが、私が継続してご相談を聞いてきた方は、年々病院に対する恐怖心が強まり、お子さんのパワーもついてきて物理的に難しくなってしまったという話がほとんどです。全部の歯が虫歯になってしまい、全身麻酔をして治療をしたお子さんを、私は何人も知っています。反対に「連れて行くのは大変だったけど、小さい時からコンスタントに通院をして慣らしておいたから必要時に連れて行くことも大変ではなかった」という先輩ママのお話をうかがうこともあります。

たけのこに来ているお子さん達の中には、自分の身体の不調をうまく訴えられない子も多いです。病院を嫌がってしまったり行きたがらないといったことがもしあれば、お子さんの気持ちに寄り添いつつ、一緒に対策を考えたいと思うのでぜひ職員に声をかけてください。